

平成21年第3回白馬村臨時議会(7月)

白馬村村長招集あいさつ

MEMO

平成21年7月14日(火)

また、新ごみ処理施設建設に関しましては6月25日、7月11日と3回にわたり住民懇談会を開催致しました。

ごみそのものを減量することの必要性や減量に努めることは共通の認識を皆さんがお持ちですが、広域化に関するメリット・デメリットや現有施設の耐用年についてはこれまでと同様、それぞれ考え方に相容れない部分があり、今後も歩み寄りや理解をいただくことは難しく平行線をたどるのではないかと推測されます。

現有施設の老朽化が進み、いつ稼働停止になるかもしれない恐れもある中で、行政の責任として、こうした押し問答をいつまでも繰り返す訳にはいかず、白馬村としての今後の方向を出す必要があります。

私自身は、これまで何回も繰り返し述べてきたつもりですが、これまでの経過や総合計画における位置づけ、現在の施設の更新時期、今後の維持管理・焼却残渣対策など各方面から検討すれば、理想論や白馬村単独では事業化が図れないことは明白であり、3市村による広域処理が絶対に必要だと考えております。従いまして白馬村としては、今後も広域処理を大前提として大町市・小谷村との連携を視野に進むことと致します。勿論その上で懇談会やこれまでの一連の流れ中で出された『ごみ減量化、コスト縮減、開かれた選考過程』などについては真摯に対応をして参りたいと考えておりますので、住民の皆さんには勿論のこと、議員各位にもご理解ご協力の程をお願い致します。

提出致しました議案についてご審議をいただき、円満なるご議決をいただくようお願い申し上げ、簡単ではございますが、臨時会招集にあたりましてのご挨拶と致します。

本日は大変、ご苦勞様でございます。

※下線は、ごみ連が加筆